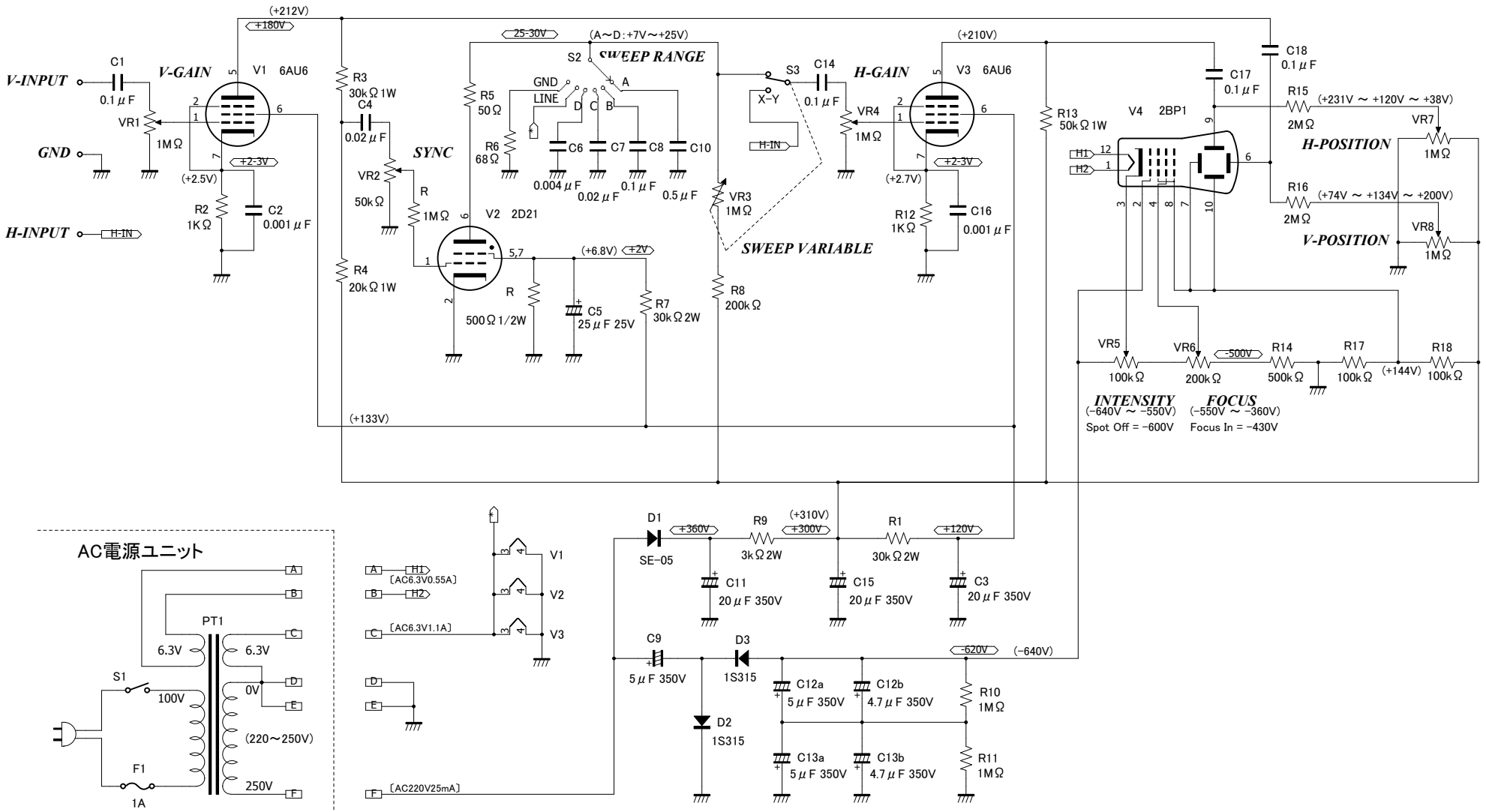

【原典からの改造箇所】

(1) 輝度調整、水平位置調整、垂直位置調整の各機能を追加。
  ① 2BP1のカソード回路の抵抗(90kΩ)をVR(100kΩ)に変更し結線を変更。
  ② 各偏向電極の＋側にB電圧をVR(1MΩ)で分圧し2MΩを通して印加。
  ③ 各偏向電極の－側はB電圧を固定抵抗(100kΩ＋100kΩ)で分圧した中点の電圧を印加。
(2) ハム(観測波形がゆれる)対策のため，C12，C13に4.7μFを追加。
(3) 同期のかかりが悪かったので，V1の負荷抵抗の分圧比を30kΩ：20kΩに変更し，同期信号電圧を上げた。
(4) サイラトロンの同期入力に1MΩの直列抵抗を追加。V1の負荷変動を緩和し垂直信号振幅を安定化させる。
(5) サイラトロンの第二グリッドに500Ωのブリーダ抵抗を追加。発振の安定化のため。

【要改善】

(1) 波形の右が詰まる。

※( )内の値は実測値を示す。

【原典】
50m/mオシロスコープの製作　芦谷正博 JA1FCJ
アマチュア無線入門ハンドブック (CQ ham radio 1967-7 臨時増刊)
P305～P311

図面名称	50mm小型オシロスコープ（改）	
作成年月日	2004年10月23日	Page 1／ 1